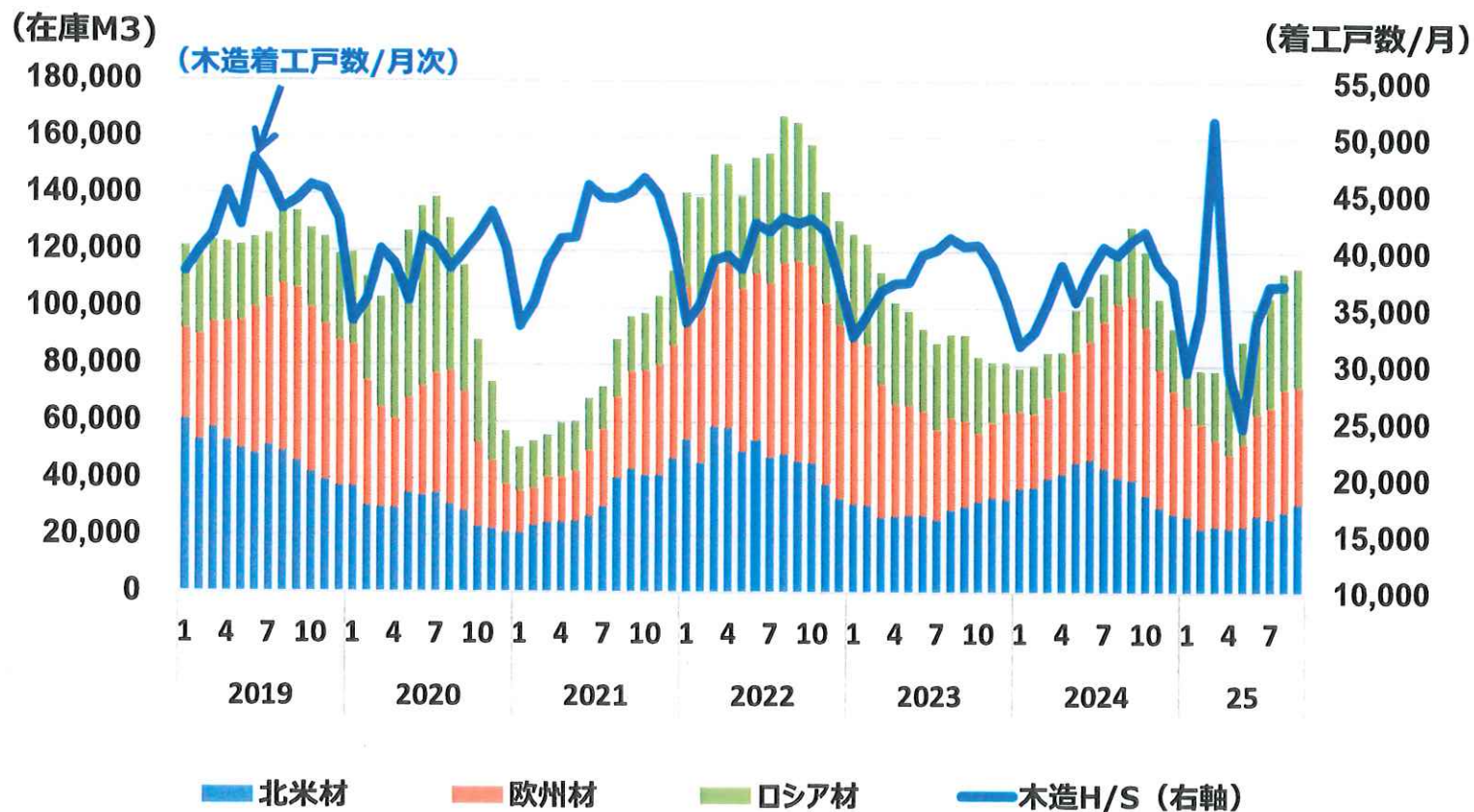


「東京港製材品在庫」と「木造着工数」の推移 2019～25年

- 2025年9月の東京港製材品在庫量（前年同期比）は、前月から増加したものの、北米材31,412m³（79%）、欧州材41,390m³（64%）は引き続き低位。ロシア材は、コンテナ入荷が引き続き順調で、41,678m³（174%）と増加傾向。
- 2025年8月の木造着工戸数は37,046戸（前年同期比93%）と先月から横ばい。

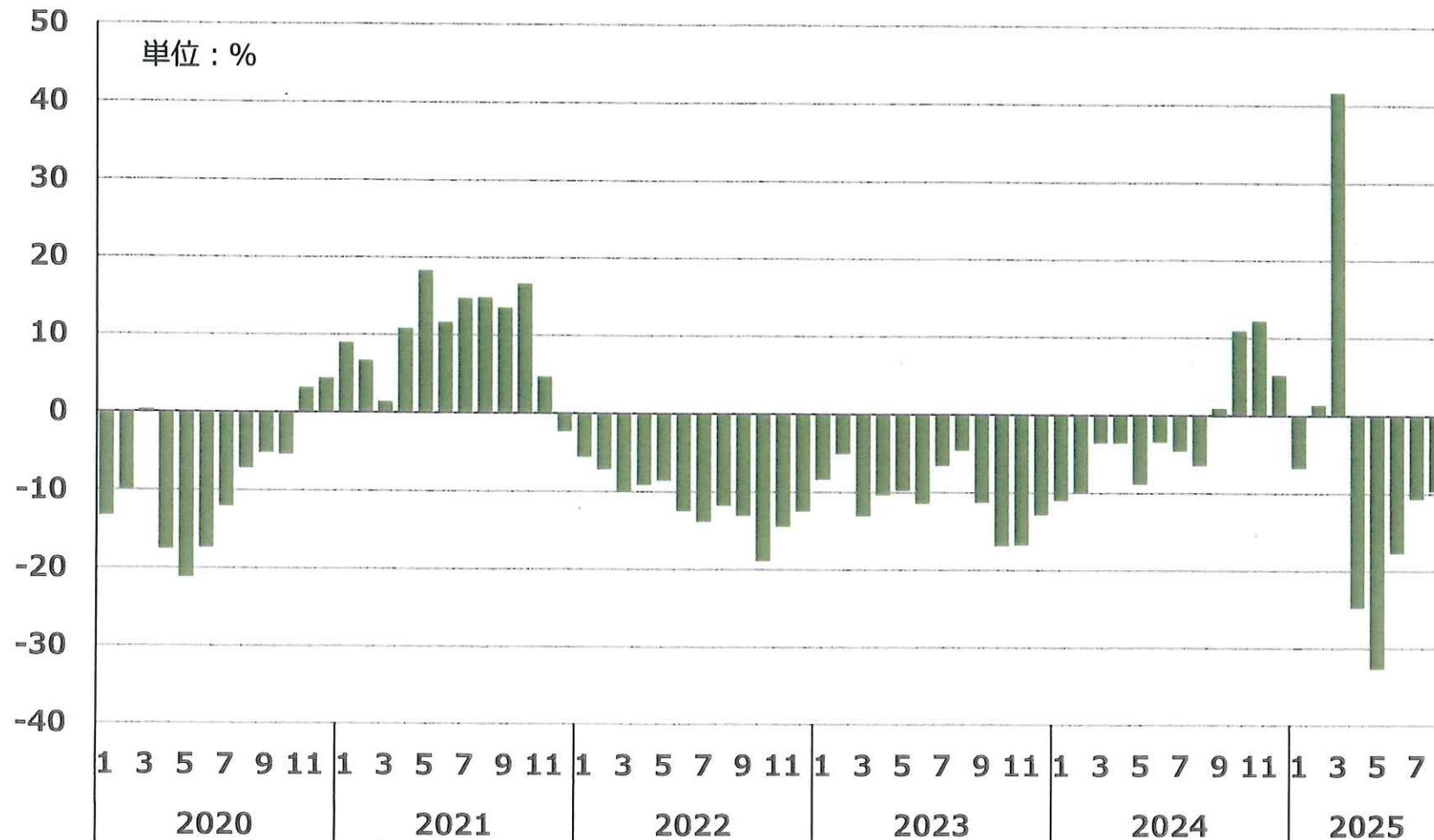


参考図表 2

木造持家住宅着工戸数の対前年比の推移

住宅着工戸数のうち、国産材の使用比率が比較的高い「木造持家」着工戸数についての、対前年比率。

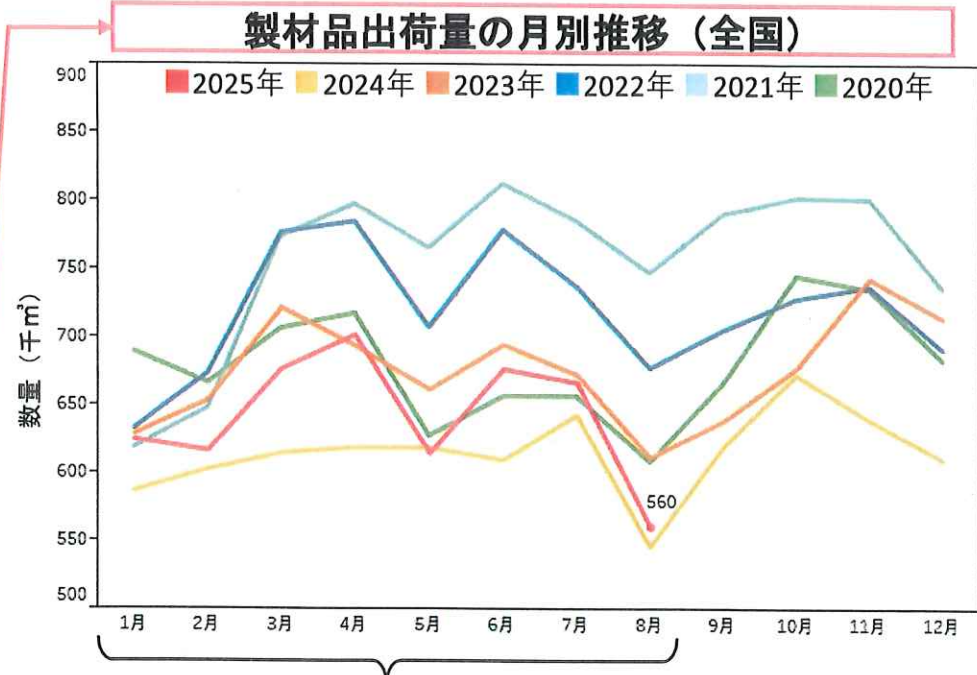
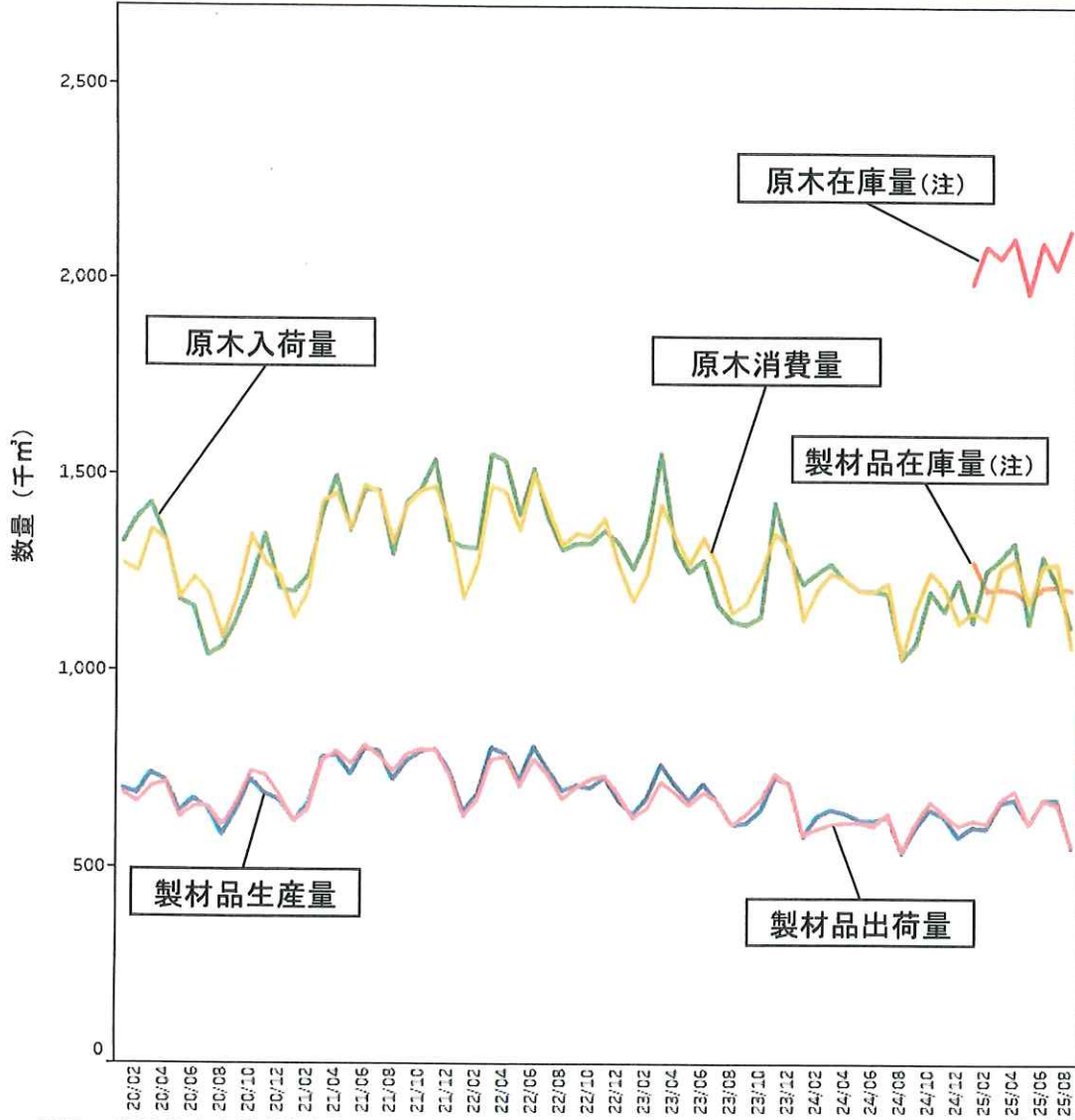
○ 2025年8月の木造持家着工戸数は、15,733戸（前年同期比90%）と7月から横ばい。



資料：国土交通省「住宅着工統計」

工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向 製材（全国）

- 2025年 1～8月の原木の入荷量は9,776千m³（前年比101%）。
- 同様に製材品の出荷量は5,133千m³（前年比106%）。



	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～8月原木入荷量合計(千m ³)	9,916	10,914	11,338	10,318	9,640	9,776
前年との比較	—	110%	104%	91%	93%	101%
1～8月製材品出荷量合計(千m ³)	5,325	5,944	5,764	5,333	4,834	5,133
前年との比較	—	112%	97%	93%	91%	106%

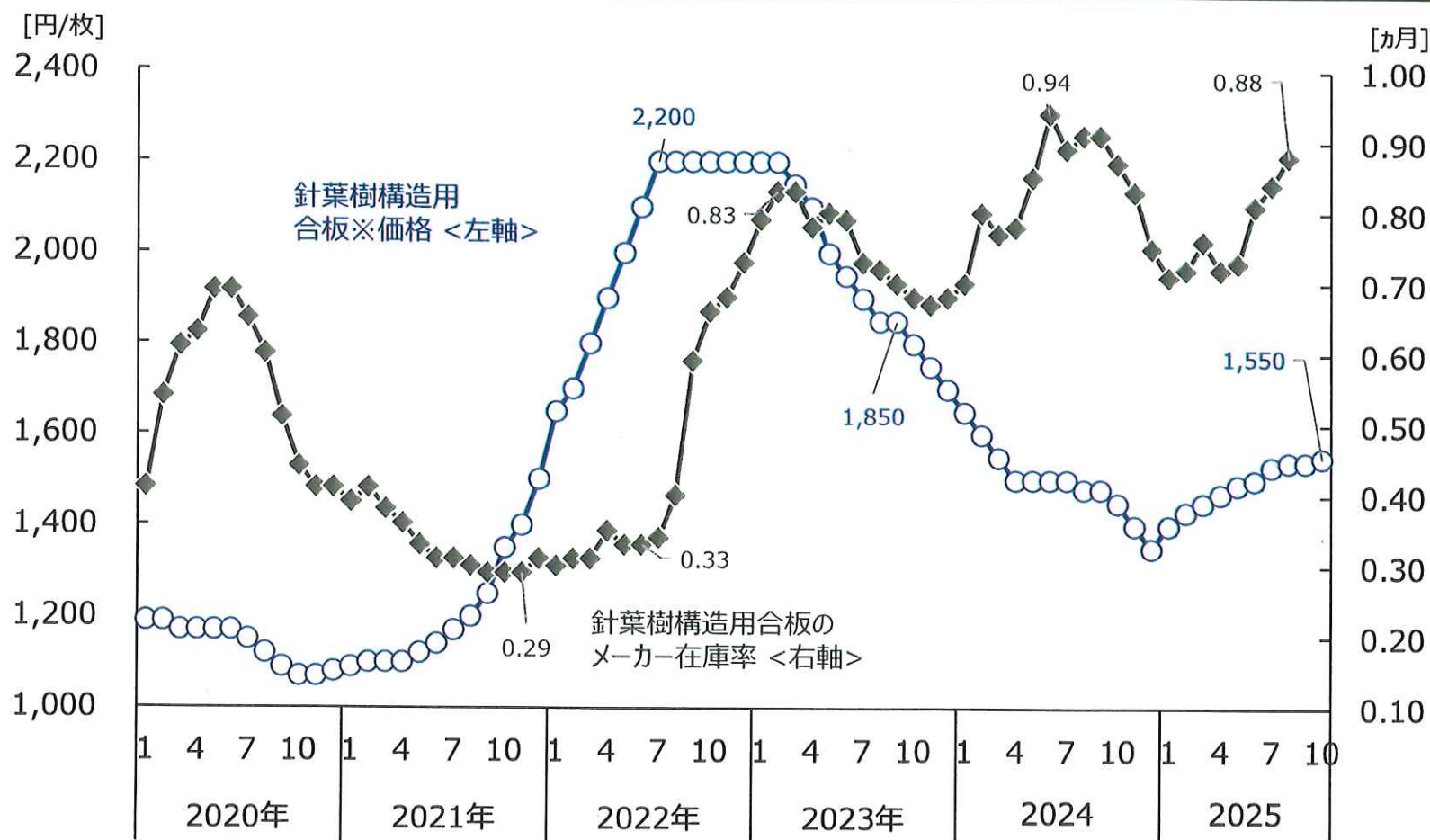
資料：農林水産省「製材統計」
注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

参考図表 4

針葉樹構造用合板価格と合板メーカー在庫率の推移

在庫率＝当月在庫量/当月を含む過去6ヶ月の平均出荷量

- 2025年8月の在庫率は0.88ヵ月分と7月から0.04ポイント上昇。
- 2025年10月の針葉樹合板価格は1,550円と先月から上昇。



※12.0mm×91cm×182cm、1類

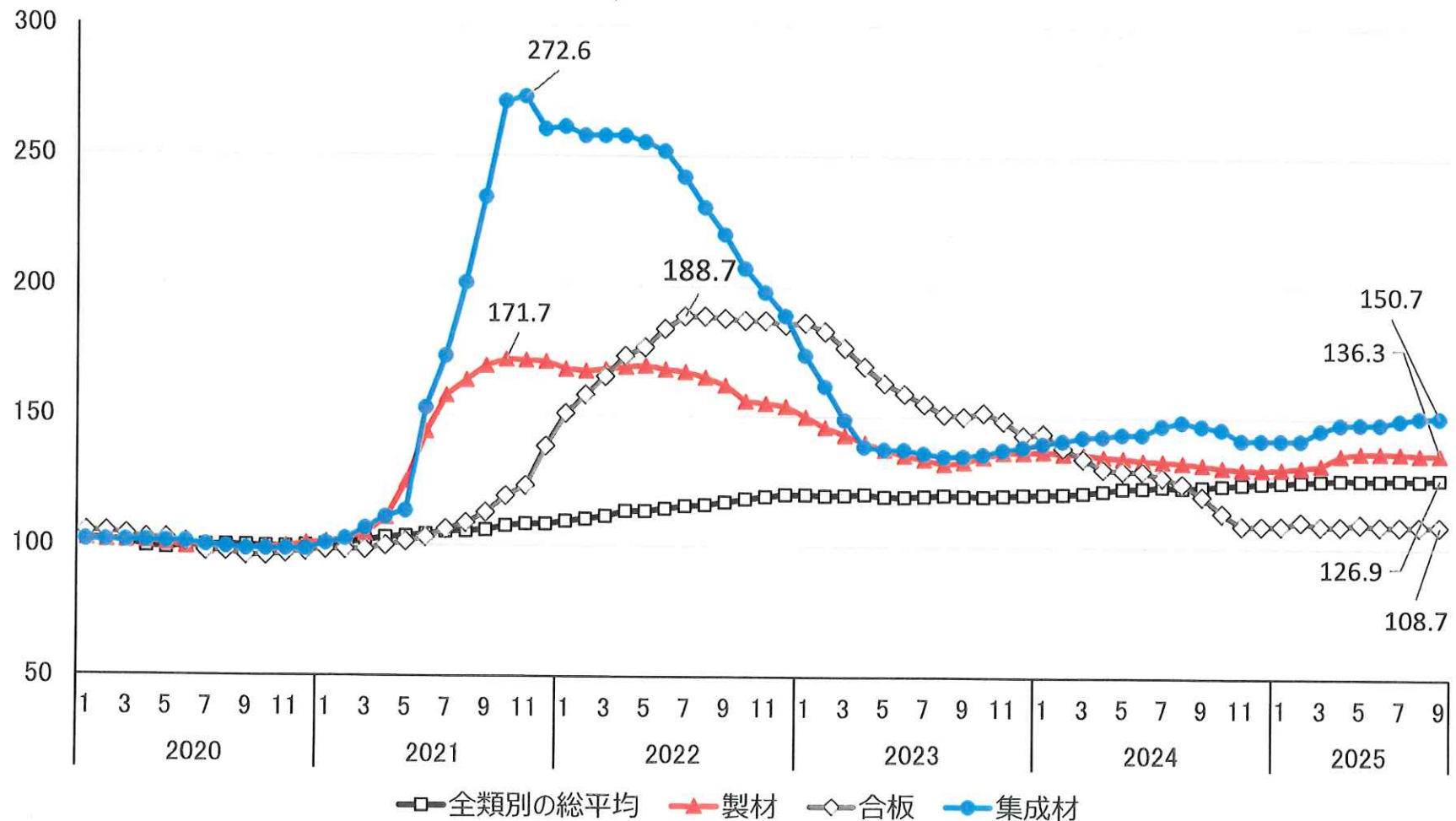
資料：農林水産省「合板統計」、日本木材総合情報センター「市況検討委員会資料」

注) 2025年1月から「合板統計」における当月在庫量の算定方法に変更があったため、前月までの在庫率の推移とは接続しない。

参考図表 5

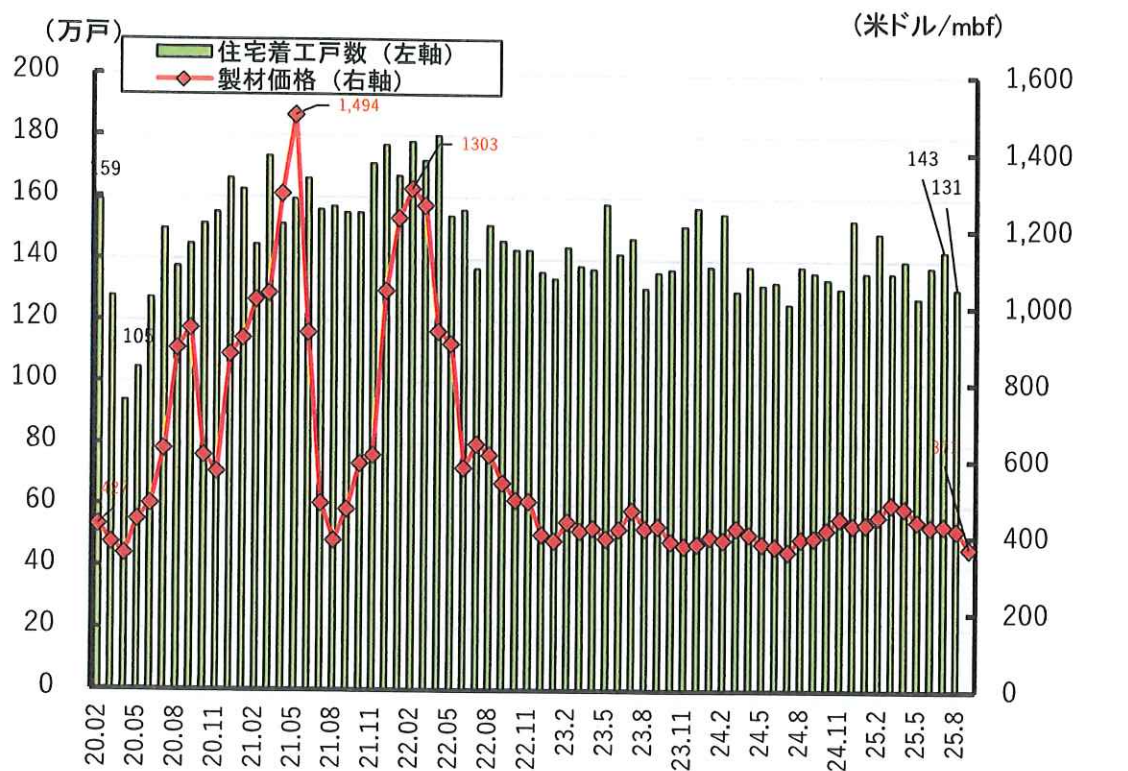
国内企業物価指数の推移（2000年平均＝100）

○ 2025年9月の企業物価指数（先月比）は、製材136.3（±0）、集成材150.7（±0）、合板108.7（±0）であり、合板は2024年9月以降下げ止まり傾向が見られる。



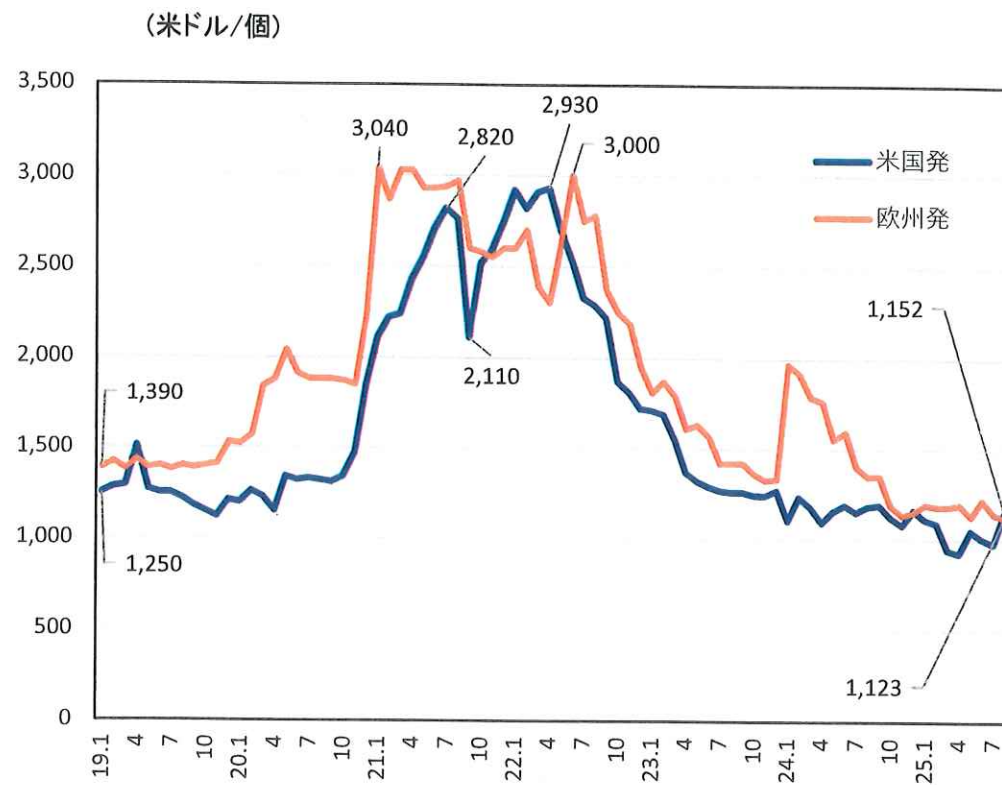
資料：日本銀行「企業物価指数」

- **米国の住宅着工戸数**（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、**2022年5月からは概ね130～150万台で推移**。**2025年8月は前月比▲8%減の約131万戸**。
- **北米の製材価格**は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。**2025年9月は371ドル/mbf（前月比▲23%減）**。
- **日本向けコンテナ運賃**は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、**2023年末時点で概ね元の水準まで下落**。2024年1月には、紅海でのフシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰。



資料：（住宅着工戸数）米国商務省「住宅着工統計」（季節調整済み、年率換算、戸建て計）
（製材価格）Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」（月末価格、2022年6月以降は月中価格）

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



（注） 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜
（出典）Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料： 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移